NO.123 北広ひとつまみ

保健センターがオープン

市役所1階に、乳幼児から高齢者までの健康相談や健康づくりなどの保健サービスを提供する、保健センターがオープンしました。乳児健診や育児交流会、健康に関する研修会などに利用されます。

5月に行われた新庁舎内覧会で、特に注目を集めたのは健康測定コーナーです。自分で健康状態をチェックする測定機器が5台導入されました。身長体重や血圧をはじめ、体脂肪率や筋肉量、血管の硬さの測定や、物忘れのテストができるようになりました。

6月7日、保健センターで初めての乳児健診を実施。「きれいで、ゆったりしていますね。駐車場も広くて助かります」と利用者に好評でした

血管機能測定では血管の硬さが分かります

健康測定コーナーの機器は自由に使うことができます。操作方法が分からないときは、スタッフに声を掛けてください。数値で気になる事があれば、保健師が個別相談を受け付けます。

担当者は「気になる症状がなくても、測定で分かることがあります。気軽に試してください」と呼び掛けます。

市役所に立ち寄ったら、保健センターで健康状態をチェック。新しい習慣にしませんか。

体組成測定ではBMI(肥満度)・体脂肪率・筋肉量が分かります

認知機能測定では、簡単なテストをパネルと音声で行います

保健センター
☎372-3311
(健康推進課内・内線1215)

まめ記者

HEARTS(ハーツ)プロジェクトの取り組み

緑陽中学校では毎年生徒会を中心として、いじめについて考えるHEARTSプロジェクトを行っています。この取り組みでは、各学級でいじめを題材にした資料を読み、いじめを生まないための行動目標を考えます。後日、全校集会で各学級ごとに話し合ったことを発表し合い、いじめ撲滅の意識を高めていきます。

今年は福田隆浩さんの「ブルーとオレンジ」という本を読み「このようなことは私たちにもあるかもしれない」「どこからがいじめか」など、各学級でいろいろな意見を出し交流しました。

HEARTS集会で、1年生は「自分に厳しく」、2年生は「流されないなどのスリーナイ・支え合うなどのフォー合う」、3年生は「平等・認め合う」をそれぞれ行動目標とし、最後にいじめ撲滅宣言を行いました。

今年で開校40周年の緑陽中学校。これからもいじめのない、活気あふれる学校をつくっていきたいです。

いじめ撲滅に取り組んでいます

緑陽中学校3年
河部ほのかさん
(生徒会長)